

2004 年度 W G 活動成果報告

(2005 年 3 月 25 日作成)

WG 名	光環境性能・基準 WG	主 査 名：平手 小太郎
所属小委員会	光環境小委員会	委員長名：井上 容子
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築関連基準の性能規定化や性能表示が求められる中で、居住環境における光環境（視環境）の性能についてアカデミック・スタンダードの基となるデータの収集・整理を行う。特に窓を中心とした光環境性能の指標を確立し、その水準を明らかにする。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：平手 小太郎(東京大学)、幹事：宗方 淳(東京大学)、大井 尚行(九州大学) 委員：奥田 紫乃(広島国際大学)、加藤 未佳(日本大学)、佐藤 隆二(大阪工業大学) 井上 容子(奈良女子大学)、三木 保弘(国土交通省国土技術政策総合研究所)、 吉澤 望(東京理科大学)	
設置 SWG (SWG 名：目的)	なし	
2004 年度予算	45,000 円	

項 目	自己評価
WG 活動状況 (開催日・参加人数)	主査・幹事会：小委員会以降後の活動方針審議(2005年3月8日, 3名) その他、適宜メールでの審議を行った。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容, 成果の学術的・技術的・社会的価値, ホームページ等での公開の有無)</p> <p>2003 年度までに収集された窓の光環境性能に関するアンケートデータの分析・検討を進め、関係委員による論文執筆を行い、第 1 段階としての成果の公表を行った(成果は 2005 年 4 月に日本建築学会環境系論文集に掲載予定)。</p> <p>同時に、光環境の水準や基準に関する検討を行い、日本建築学会に対して求められている性能・基準に関する考え方を整理し、アカデミック・スタンダードの策定に向けて活動方針を決定した。</p> <p>公表成果物として、日本建築学会環境基準 AIJES-L001-200X「室内光・視環境に関する窓・開口部の設計・維持管理規準・同解説」の出版を目指す予定である。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 上記第 1 段階の成果の公表が諸般の事情により遅れたため、当初の活動計画に比べて多少遅延ぎみとなったが、次年度以降挽回できると考えている。
その他評価すべき事項	なし